

&lt;個別案件確認表（東京都）&gt;

東京都担当確認 2018年 7月 6日

東京都作業部会確認 2018年 7月 11日

事業名 通信インフラ（大会関係者向け LAN 設備）

案件名 データネットワーク関連業務委託（詳細設計）

確認の視点	東京都の見解	備考
経費の負担が平成 29 年 5 月 31 日の合意の考え方に基づくものであること	<ul style="list-style-type: none"> <li>大卒の合意に基づき、平成 30 年度に予算計上したテクノロジーのインフラ（大会関係者向け LAN 設備）に係る経費である。</li> <li>経費分担については、大卒の合意に基づき計上された予算の対象となっている。</li> </ul>	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること	<ul style="list-style-type: none"> <li>大卒の合意においては、経費分担に関わらず、組織委員会がテクノロジーのインフラの整備を実施する役割を担っている。</li> <li>組織委員会は、昨年 4 月、通信サービスパートナー企業と電気通信供給契約を締結し、電気通信パッケージの提供を委託している。本案件は、この契約において、組織委員会に対して提供する電気通信パッケージの一つとして示された「データネットワーク WAN/LAN サービス」に含まれる。</li> <li>組織委員会と通信サービスパートナー企業は、電気通信供給契約に基づき、データネットワークの基本設計を実施し、その成果物として組織委員会に基本設計書を提出している。</li> <li>本案件は、組織委員会が電気通信供給契約を締結した通信サービスパートナー企業と協議し、既に実施されたデータネットワークの基本設計及びその後の要件見直しに基づき、データセンタ内の詳細設計及び移行基本設計を実施するものである。</li> <li>以上より、本案件についても引き続き、組織委員会が一括して執行することが効率的・効果的である。</li> </ul>	

	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催都市契約大会運営要件においては、大会のインターネットサービス等の供給を確保することが示されている。</li> <li>・大会用データネットワークは、大会時にデータセンタ、組織委員会の各拠点、競技会場、大会関係施設等の間を接続する、大会運営の基盤となるネットワークである。</li> <li>・本案件は、大会用データネットワークを構築するためのデータセンタ内の詳細設計と、既存のデータネットワークから大会用データネットワークに移行するための基本設計を実施するものであり、大会運営のために必要な業務である。</li> </ul>	開催都市契約大会運営要件 TEC03, 04
経費の内容等が必要性（必要な内容、機能かなど）、効率性（適正な規模、単価かなど）、納得性（類似のものと比較して相応かなど）等の観点から妥当なものであること	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回実施する設計の各工程について、組織委員会が単価を妥当であると判断した内容を確認した。</li> <li>・工数については、組織委員会が電気通信供給契約を締結した通信サービスパートナー企業と協議を行った結果、当初提示された工数から約3割削減している。</li> <li>・本設計の一部は、通信サービスパートナー企業が調達するネットワーク機器のメーカーに委託することにより、コスト削減が行われていることを確認した。</li> </ul>	
	納得性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気通信供給契約において、組織委員会と通信サービスパートナー企業は、電気通信パッケージの提供に関する、最低価格によるサービスの提供、サービスレベルの維持、平時の事業以上の業務品質によるサービスの提供、要員の要求事項の遵守等について合意をしている。</li> <li>・設計の単価については、大手IT企業6社のカタログ価格よりも安価であることを確認した。</li> <li>・既に変更されたデータネットワークの基本設計に基づき、設計方針が定められていたが、その後の要件見直しにより、設計業務が過剰とならないようさらに精査されている。</li> </ul>	
その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること		<ul style="list-style-type: none"> <li>・大会成功に向けて、大会開催都市としての責任を持つ東京都が大卒の合意に基づき、本事業の経費を公費で負担することは適切である。</li> </ul>	

\*公費負担の対象となるパラリンピック経費については、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。

&lt;個別案件確認表（東京都）&gt;

東京都担当確認 2018年 7月 6日

東京都作業部会確認 2018年 7月 11日

事業名 通信インフラ（大会関係者向け LAN 設備）

案件名 警備用ネットワーク関連業務委託（基本設計）

確認の視点	東京都の見解	備考
経費の負担が平成 29 年 5 月 31 日の合意の考え方に基づくものであること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大枠の合意に基づき、平成 30 年度に予算計上したテクノロジーのインフラ（大会関係者向け LAN 設備）に係る経費である。</li> <li>・経費分担については、大枠の合意に基づき計上された予算の対象となっている。</li> </ul>	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大枠の合意においては、経費分担に関わらず、組織委員会がテクノロジーのインフラの整備を実施する役割を担っている。</li> <li>・組織委員会は、昨年 4 月、通信サービスパートナー企業と電気通信供給契約を締結し、電気通信パッケージの提供を委託している。本案件は、この契約において、組織委員会に対して提供する電気通信パッケージの一つとして示された「データネットワーク WAN/LAN サービス」に含まれる。</li> <li>・組織委員会と通信サービスパートナー企業は、電気通信供給契約に基づき、データネットワークの基本設計を実施し、その成果物として組織委員会に基本設計書を提出している。</li> <li>・本案件は、組織委員会が電気通信供給契約を締結した通信サービスパートナー企業と協議し、既に実施されたデータネットワークの基本設計及びその後の要件見直しに基づき、警備用ネットワークの基本設計を実施するものである。</li> <li>・以上より、本案件についても引き続き、組織委員会が一括して執行することが効率的・効果的である。</li> </ul>	

<p>経費の内容等 が必要性（必要な内容、機能かなど）、効率性（適正な規模、単価かなど）、納得性（類似のものと比較して相応かなど）等の観点から妥当なものであること</p>	<p>必要性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催都市契約大会運営要件においては、大会のインターネットサービス等の供給を確保することが示されている。</li> <li>・大会用データネットワークは、大会時にデータセンタ、組織委員会の各拠点、競技会場、大会関係施設等の間を接続する、大会運営の基盤となるネットワークである。</li> <li>・警備システムは、撮影によるベニュー等の状況把握等を可能にし、限られた人的資源の中で、事案発生時の未然防止及び事案発生時の早期対応を実現し、円滑な大会運営を実施するために構築されるものである。</li> <li>・本案件は、各ベニューに構築される警備システムを広域 WAN でつなぎ、センタ拠点（GSCC、MOC）から各ベニューの情報をリアルタイムに把握するために必要な警備用ネットワークを設計するものであり、大会運営のために必要な業務である。</li> </ul>	<p>開催都市 契約大会 運営要件 TEC03, 04</p>
	<p>効率性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回実施する設計の各工程について、組織委員会が単価及び工数を妥当であると判断した内容を確認した。</li> <li>・大会用データネットワークで使用する WAN ルータを警備用ネットワークでも共用する構成にすることにより、機器台数等の削減を行う方針である。</li> <li>・警備用ネットワークへ割り当て可能な回線帯域については、データネットワーク全体のトラフィックと円滑な警備業務遂行に必要な帯域を各 FA やパートナーと調整しながら、精査を進めている。</li> <li>・本案件は、当初セキュリティ部門により提供が予定されていたものであるが、ネットワーク基盤を共有することにより、組織委全体としてのコスト縮減と機能性向上を目指し、テクノロジーサービス局で実施することとなったものである。</li> <li>・今後、セキュリティ関係者等と連携の上、コスト及び機能性の両観点から、最適なネットワーク構築を目指していただきたい。</li> </ul>	

	納 得 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気通信供給契約において、組織委員会と通信サービスパートナー企業は、電気通信パッケージの提供に関する、最低価格によるサービスの提供、サービスレベルの維持、平時の事業以上の業務品質によるサービスの提供、要員の要求事項の遵守等について合意をしている。</li> <li>・設計の単価については、大手 IT 企業 6 社のカタログ価格よりも安価であることを確認した。</li> <li>・過去大会と比べて多い 45 会場で、限りある人員による円滑な警備を行い、大会の安全・安心に寄与するためには、警備用ネットワークの運用が必須である。その警備用ネットワークの設計・構築に当たり、大会用データネットワークの一部を共用することとしており、トータルコストの削減を図っている。</li> </ul>	
その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大会成功に向けて、大会開催都市としての責任を持つ東京都が大枠の合意に基づき、本事業の経費を公費で負担することは適切である。</li> </ul>		

\*公費負担の対象となるパラリンピック経費については、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。

&lt;個別案件確認表（東京都）&gt;

東京都担当確認 2018年 7月 6日

東京都作業部会確認 2018年 7月 11日

事業名 通信インフラ（大会関係者向け LAN 設備）

案件名 データネットワーク関連業務委託（インターネット回線サービス）

確認の視点	東京都の見解	備考
経費の負担が平成 29年 5月 31日の合意の考え方に基づくものであること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大枠の合意に基づき、平成 30年度に予算計上した大会関係者向け LAN 設備に係るパラリンピック経費である。</li> <li>・経費分担については、大枠の合意に基づき計上された予算の対象となっている。</li> </ul>	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大枠の合意においては、経費分担に関わらず、組織委員会が大会運営の主体としての役割を担っている。</li> <li>・組織委員会は、昨年 4月、通信サービスパートナー企業と電気通信供給契約を締結し、電気通信パッケージの提供を委託している。本案件は、この契約において、組織委員会に対して提供する電気通信パッケージの一つとして示された「データネットワーク WAN/LAN サービス」に含まれる。</li> <li>・組織委員会と通信サービスパートナー企業は、電気通信供給契約に基づき、データネットワークの基本設計を実施し、その成果物として組織委員会に基本設計書を提出している。</li> <li>・本案件は、組織委員会が通信サービスパートナー企業と協議し、既に実施されたデータネットワークの基本設計及びその後の要件見直しに基づき、大会用データネットワークにインターネット回線を開設するものである。</li> <li>・以上より、本案件についても引き続き、組織委員会が一括して執行することが効率的・効果的である。</li> </ul>	

経費の内容等が必要性(必要な内容、機能かなど)、効率性(適正な規模、単価かなど)、納得性(類似のものと比較して相応かなど)等の観点から妥当なものであること	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>開催都市契約大会運営要件においては、大会のインターネットサービス等の供給を確保することが示されている。</li> <li>大会用データネットワークは、大会時にデータセンタ、組織委員会の各拠点、競技会場、大会関係施設等の間を接続する、大会運営の基盤となるネットワークである。</li> <li>本案件は、大会用データネットワークに十分な帯域のインターネット回線を開設するものであり、大会運営のために必要な業務である。</li> </ul>	開催都市契約大会運営要件 TEC03, 04
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>回線設計については、基本設計時の要件から見直しを実施し、帯域を変更することにより、費用の削減を実施していることを確認した。</li> <li>月額料金については、既存環境の月額料金よりもさらに割引率が高い7割程度となっていることを確認した。</li> </ul>	
	納得性	<ul style="list-style-type: none"> <li>電気通信供給契約において、組織委員会と通信サービスパートナー企業は、電気通信パッケージの提供に関する、最低価格によるサービスの提供、サービスレベルの維持、平時の事業以上の業務品質によるサービスの提供、要員の要求事項の遵守等について合意をしている。</li> <li>過去大会と比較して、通信量の増加が予想されており、今後、回線帯域を増強する可能性はあるが、本案件では過去大会と同等の帯域とし、必要に応じて対応することとしている。</li> <li>大会前から大会終了までの全期間について、利用期間及び帯域について予め合意するなど契約を工夫することにより、通常より大幅な割引を実現している。</li> </ul>	
その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること		<ul style="list-style-type: none"> <li>大会成功に向けて、大会開催都市としての責任を持つ東京都が大枠の合意に基づき、本事業の経費を公費で負担することは適切である。</li> </ul>	

\*公費負担の対象となるパラリンピック経費については、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。

&lt;個別案件確認表（東京都）&gt;

東京都担当確認 2018年 7月 6日

東京都作業部会確認 2018年 7月 11日

事業名 通信インフラ（大会関係者向け LAN 設備）

案件名 データネットワーク関連業務委託（インターネット付加サービス1）

確認の視点	東京都の見解	備考
経費の負担が平成 29年 5月 31日の合意の考え方に基づくものであること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大枠の合意に基づき、平成30年度に予算計上したテクノロジーのインフラ（大会関係者向け LAN 設備）に係る経費である。</li> <li>・経費分担については、大枠の合意に基づき計上された予算の対象となっている。</li> </ul>	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大枠の合意においては、経費分担に関わらず、組織委員会がテクノロジーのインフラの整備を実施する役割を担っている。</li> <li>・組織委員会は、昨年4月、通信サービスパートナー企業と電気通信供給契約を締結し、電気通信パッケージの提供を委託している。本案件は、この契約において、組織委員会に対して提供する電気通信パッケージの一つとして示された「データネットワーク WAN/LAN サービス」に含まれる。</li> <li>・組織委員会と通信サービスパートナー企業は、電気通信供給契約に基づき、データネットワークの基本設計を実施し、その成果物として組織委員会に基本設計書を提出している。</li> <li>・本案件は、組織委員会が電気通信供給契約を締結した通信サービスパートナー企業と協議し、既に実施されたデータネットワークの基本設計及びその後の要件見直しに基づき、十分なセキュリティレベルを確保するため、大会用データネットワークのセキュリティサービスを委託するものである。</li> <li>・以上より、本案件についても引き続き、組織委員会が一括して執行することが効率的・効果的である。</li> </ul>	



	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催都市契約大会運営要件においては、大会のインターネットサービス等の供給を確保することが示されている。</li> <li>・大会用データネットワークは、大会時にデータセンタ、組織委員会の各拠点、競技会場、大会関係施設等の間を接続する、大会運営の基盤となるネットワークである。</li> <li>・本大会は世界で最も注目を集める大会の一つであり、サイバー攻撃のターゲットとなる。そのため、このリスクに対して十分な対策を行う必要がある。</li> <li>・本案件は、そのデータネットワークの十分なセキュリティレベルを確保するために必要な業務である。</li> </ul>	開催都市契約大会運営要件 TEC03, 04
経費の内容等が必要性（必要な内容、機能かなど）、効率性（適正な規模、単価かなど）、納得性（類似のものと比較して相応かなど）等の観点から妥当なものであること	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セキュリティサービスの導入時の設計構築等に係る単価及び工数について、組織委員会が妥当であると判断した内容を確認した。</li> <li>・基本設計時に予定されていた数量から、データネットワークの構成を見直し、必要最低限の数量に削減することで、コスト削減を図っていることを確認した。</li> <li>・本案件における月額サービス料金については、既存環境で使用している機種の上位機種を利用する予定だが、既存環境のサービス料金のよりも高い値引き率であることを確認した。</li> </ul>	
	納得性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気通信供給契約において、組織委員会と通信サービスパートナー企業は、電気通信パッケージの提供に関する、最低価格によるサービスの提供、サービスレベルの維持、平時の事業以上の業務品質によるサービスの提供、要員の要求事項の遵守等について合意をしている。</li> <li>・既に行われたデータネットワークの基本設計に基づき、セキュリティ設計方針が定められていたが、その後の要件見直しにより、サービス仕様が過剰とならないようさらに精査されている。</li> </ul>	
その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること		<ul style="list-style-type: none"> <li>・大会成功に向けて、大会開催都市としての責任を持つ東京都が大卒の合意に基づき、本事業の経費を公費で負担することは適切である。</li> </ul>	

\*公費負担の対象となるパラリンピック経費については、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。

&lt;個別案件確認表（東京都）&gt;

東京都担当確認	2018年 7月 6日
東京都作業部会確認	2018年 7月 11日

事業名 通信インフラ（大会関係者向け LAN 設備）

案件名 データネットワーク関連業務委託（コロケーションサービス）

確認の視点	東京都の見解	備考
経費の負担が平成 29 年 5 月 31 日の合意の考え方に基づくものであること	<ul style="list-style-type: none"> <li>大卒の合意に基づき、平成 30 年度に予算計上したテクノロジーのインフラ（大会関係者向け LAN 設備）に係る経費である。</li> <li>経費分担については、大卒の合意に基づき計上された予算の対象となっている。</li> </ul>	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること	<ul style="list-style-type: none"> <li>大卒の合意においては、経費分担に関わらず、組織委員会がテクノロジーのインフラの整備を実施する役割を担っている。</li> <li>組織委員会は、昨年 4 月、通信サービスパートナー企業と電気通信供給契約を締結し、電気通信パッケージの提供を委託している。本案件は、この契約において、組織委員会に対して提供する電気通信パッケージの一つとして示された「データネットワーク WAN/LAN サービス」に含まれる。</li> <li>組織委員会と通信サービスパートナー企業は、電気通信供給契約に基づき、データネットワークの基本設計を実施し、その成果物として組織委員会に基本設計書を提出している。</li> <li>また、現在のデータネットワークに構築されたデータセンタ内の機器については、すでに調達済みのラックに收容されている。</li> <li>本案件は、組織委員会が電気通信供給契約を締結した通信サービスパートナー企業と協議し、既に実施されたデータネットワークの基本設計及びその後の要件見直しに基づいて調達される機器を收容するため、追加でラックを発注するものである。</li> <li>以上より、本案件についても引き続き、組織委員会が一括して執行することが効率的・効果的である。</li> </ul>	

	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>開催都市契約大会運営要件においては、大会のインターネットサービス等の供給を確保することが示されている。</li> <li>大会用データネットワークは、大会時にデータセンタ、組織委員会の各拠点、競技会場、大会関係施設等の間を接続する、大会運営の基盤となるネットワークである。</li> <li>本案件は、データセンタ内の機器を収容するためのラックであり、大会用データネットワークの稼働に必要なものである。</li> </ul>	開催都市契約大会運営要件 TEC03, 04
経費の内容等が必要性（必要な内容、機能かなど）、効率性（適正な規模、単価かなど）、納得性（類似のものと比較して相応かなど）等の観点から妥当なものであること	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラック1台あたりの基本料金については、平成28年の当初契約時に価格交渉を実施し、1割以上削減されていることを確認した。</li> <li>ラックの台数については、空調効率を上げることにより、当初必要とされていた台数から、1台のラックに収容できる機器を増やすことで、約半数にまで削減した。</li> <li>さらに、交渉の結果、ラック1台あたりの電源容量を増強することにより、1台のラックに収容できる機器数を増やし、最終的に当初必要とされていた台数の3割以下まで削減していることを確認した。</li> <li>これにより、初期工事費用が発生するものの、利用期間全体でランニングコストは半額以下となっていることを確認した。</li> </ul>	
	納得性	<ul style="list-style-type: none"> <li>電気通信供給契約において、組織委員会と通信サービスパートナー企業は、電気通信パッケージの提供に関する、最低価格によるサービスの提供、サービスレベルの維持、平時の事業以上の業務品質によるサービスの提供、要員の要求事項の遵守等について合意をしている。</li> <li>ラック1台あたりの基本料金は、組織委員会ですでに価格交渉を実施した金額が本案件にも適用されている。</li> <li>機器の収容方法を工夫することにより、ラック台数を大幅に削減していることを確認した。</li> </ul>	
その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること		<ul style="list-style-type: none"> <li>大会成功に向けて、大会開催都市としての責任を持つ東京都が大卒の合意に基づき、本事業の経費を公費で負担することは適切である。</li> </ul>	

\*公費負担の対象となるパラリンピック経費については、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。

&lt;個別案件確認表（東京都）&gt;

東京都担当確認 2018年 7月 6日

東京都作業部会確認 2018年 7月 11日

事業名 通信インフラ（大会関係者向け LAN 設備）

案件名 大会用データネットワークに係る機器の発注について

確認の視点	東京都の見解	備考
経費の負担が平成 29 年 5 月 31 日の合意の考え方に基づくものであること	<ul style="list-style-type: none"> <li>大卒の合意に基づき、平成 30 年度に予算計上したテクノロジーのインフラ（大会関係者向け LAN 設備）に係る経費である。</li> <li>経費分担については、大卒の合意に基づき計上された予算の対象となっている。</li> </ul>	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること	<ul style="list-style-type: none"> <li>大卒の合意においては、経費分担に関わらず、組織委員会がテクノロジーのインフラ整備をする役割を担っている。</li> <li>組織委員会は、大会においてテクノロジーサービスの提供及び運営に関する責任を持ち、IOC、パートナー企業及び各 FA など、多くの関係者と調整、協力しながら整備を進めている。</li> <li>組織委員会は、既の実施されたデータネットワークの基本設計及びその後の要件見直しに基づき、機器を調達するものである。</li> <li>以上より、本事業についても引続き、組織委員会が一括して執行することが効率的・効果的である。</li> </ul>	
経費の内容等が必要性（必要な内容、機能かなど）、効率性（適正な規模、単価かなど）、納得性（類似の	<ul style="list-style-type: none"> <li>開催都市契約大会運営要件においては、大会のインターネットサービス等の供給を確保することが示されている。</li> <li>大会用データネットワークは、大会時にデータセンタ、組織委員会の各拠点、競技会場、大会関係施設等の間を接続する、大会運営の基盤となるネットワークである。</li> <li>本案件は、そのデータネットワークの稼働に必須の機器を調達するものである。</li> </ul>	開催都市契約大会運営要件 TEC03, 04

<p>ものと比較して相応かなど)等の観点から妥当なものであること</p>	<p>効率性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調達する機器の台数については、既に実施されたデータネットワークの基本設計時に予定していた数量から、データネットワークの構成を見直すことにより、機器台数の削減を図っている。</li> <li>・また、ライセンス費、保守費の削減のため、関係者へのヒアリング等を通じ、必要な機器を必要となる時期に調達することにより、トータルコストを削減している。</li> <li>・通信環境検証のため、4種類のモデルメニューについての機器を調達するが、その機器については本番環境用に転用することとしている。</li> <li>・コスト管理と3Rの観点から購入契約とリース契約を比較検討し、供給権を持つパートナー及びリース会社と協議の上、リース契約を選択し、調達価格の削減を図っている。</li> </ul>	
	<p>納得性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機器調達の方針として、オーバースペックとならないよう、データネットワークの基本設計で定められているネットワークの構成から、さらに要件の見直しを実施し、時期に合わせて段階的な調達を実施することとしている。</li> <li>・パートナーが示す提供価格は、組織委員会で過去、供給先から実際に調達したシステム関係の物品の値引き率と同等程度であることを組織委員会で確認している。</li> <li>・今後、調達管理委員会への付議、調達部での交渉を通じ、さらなるコストの削減に努めていただきたい。</li> </ul>	
<p>その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・大会用のネットワーク構築は、大会開催に必須であり、本事業は、そのネットワーク構築において必要なものである。</li> <li>・大会成功に向けて、大会開催都市としての責任を持つ東京都が大卒の合意に基づき、本事業の経費を公費で負担することは適切である。</li> </ul>	

\*公費負担の対象となるパラリンピック経費については、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。